

## ECCアーティスト美容専門学校 学校関係者評価 報告書

学校法人山口学園ECCアーティスト美容専門学校 学校関係者評価委員会は、平成30年9月13日に「平成29年度自己評価報告書」に基づいて学校関係者評価を実施しましたので以下のとおり報告いたします。

平成30年9月13日  
学校法人山口学園  
ECCアーティスト美容専門学校  
学校関係者評価委員会

### 1. 学校関係者評価委員（「ECCアーティスト専門学校 学校評価実施規定」選出区分）

#### 【関連業界等関係者「同第12条第1項（1）」】

##### 委員長

永倉 瑞江 氏（一般社団法人JMA 取締役 検定事業本部本部長）

坂本 恭一 氏（滝川株式会社 大阪営業所次長）

#### 【卒業生「第12条第1項（2）」】

高野 圭梨 氏（ECCアーティスト美容専門学校卒業生）

#### 【保護者または地域関係者「第12条第1項（3）」】

猿木 唯資 氏（済美福祉センター連合運営委員会 会長）

#### 【その他校長が必要と認める者「第12条第1項（4）」】

橋本 尚樹 氏（株式会社クラフトワークス 副部長）

貴治 康夫 氏（立命館高等学校）

#### 【同席者】

中村 竜二 ECC アーティスト美容専門学校 学校長  
辻浦 誠司 ECCアーティスト美容専門学校 副校長（議長代行）  
三木 武志 学校法人山口学園 自己点検評価室  
兼田 寛子 ECCアーティスト美容専門学校 進路指導課  
北口 博一 ECCアーティスト美容専門学校 入試課  
西村 宗博 ECCアーティスト美容専門学校 教務課

## 2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

- ・事前に配布した自己評価報告書を確認し、各項目を議長もしくは指名された参加者から説明、課題・改善策等に関して討議、意見交換を実施した。

項 目	評価・意見
基準1 理念・目的・育成人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドブックは例年作成していたが、コースごとの人材育成目標や卒業要件（DP）も今年度から掲載するようになった。</li> <li>最新の専門技術情報収集力が不足しているのは、どのあたりかと質問があり、なかなか学校にいると情報収集が厳しい。このような場を活用して最新の情報を得ていきたい。SNSなどもネットも活用していきたい。</li> <li>国家試験の対策などのスケジュールがタイトな中だが、SNS等のネット上の確認だけでなく芸術・美術等の本物に触れさせることが大事だとの意見あり。</li> </ul>
基準2 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3カ年計画はいつからたてているのかとの質問あり。</li> <li>学園全体では以前から作成している状況であるが、学校単独での作成も必要と考えている。</li> <li>・教職員ミーティングについてはどのくらいの頻度でしているのかとの質問があった。</li> <li>2週間に1度実施している状況であるが、教員が授業を担当する中、全員のスケジュールを合わせるのが困難な状況で参加者は少ないのが実情であった。後期は予め会議時間を設定して、この時間帯を確保するように設定したため大きく改善された。</li> <li>それでも会議時間が少ないため情報共有がなかなか難しく、資料の共有などはメールにて対応すし、議論のみに絞りたい。</li> <li>なお、立命館高校さんも同様の頻度である旨説明頂いた。</li> <li>・卒業生からは講師の先生方の技術が個人個人でぶれないようにして欲しいとの意見が出た。</li> <li>今は共有や手合わせを実施している状況を説明。</li> <li>・非常勤の先生方が多いように思うがどのような現状かと質問があり。</li> <li>最先端の技術者から学ぼうとすると現場で活躍せれている非常勤講師の登用が多くなる傾向にある旨を説明。</li> </ul>
基準3 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際にサロンでは、どのように目標設定をされているのかを質問</li> <li>クラフトワークス社では、5カ年で計画を立ててPDCAで行っているとの説明あり。</li> <li>逆に学校の内容を参考にしたいとの逆に質問があり。</li> </ul>

	<p>キャリア教育やコンテストの受賞状況にもバラツキがある状況だがコンテストは企業としてもなかなか時間と経費がかかり取り組みが難しい。悩ましいとの意見がでた。</p> <p>学校の得意分野であるメイクなどに特化すると強みが明確になり良いのではないでかとの意見あり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校として各技術の水準/基準を作成することが重要である旨説明。毎年コースごとで議論しその基準を決めている。</li> </ul>
基準 4 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生の離職率についての質問あり。</li> </ul> <p>学校として大変は気になっているが十分把握できていないのが現状。</p> <p>離職しないためには、学生時代に離職しないためのマッチングや育成が必要ではとの意見があり。</p> <p>また、自信をもたせる内容を実施する必要があると考えている。</p> <p>コンテストや SNS などいろいろな面で学生に自信をもたせることが必要ではないかと思う。</p> <p>業界研究の授業に力を入れて進路の参考にさせている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得の意欲の低下者の比率はどのくらいかとの質問あり。</li> </ul> <p>1割程度はいるのが現状で、メイク系に多い傾向が見られる。</p> <p>企業からの目線でいうと、資格がなくても良い人材はいるので難しいところでもある。勉強だけでなく個性も活かす必要がある。</p>
基準 5 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容は嗜好性が強いので嫌になって辞める学生が存在するのかとの質問あり。</li> </ul> <p>現実にはいる旨説明。全く興味がなくなる学生もおり、美容系の場合、その分野で興味がなくなれば進路変更の対応が困難で退学することになるケースが多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語学などで海外留学する学生はいるのか。</li> </ul> <p>海外研修、短期留学等は実施しているが長期の留学は今のところ少ないのが現状である。</p>
基準 6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育施設が手狭になったため、3号館の新設をおこなった旨説明。</li> <li>・インターンシップ先の確保が難しい。</li> <li>・英会話授業を行っているのは非常に良いとの意見が出された。</li> <li>・年2回防災対策を行っていることを説明。</li> <li>・刃物の使用マニュアルのみならず、熱源のある施設に関する取り扱いのマニュアル作成が必要ではないかとの意見あり。</li> </ul>
基準 7 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンキャンパスでの個別対応の拡充、パンフレットのさらなる充実等で情報誤認をなくしていく。</li> <li>・AO面談と面接との違いは何かとの質問があり</li> </ul> <p>AOは面談のみを行っており、面接に比べて意欲重視となる。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験に技術試験の導入を検討したい。</li> <li>・辞退者増加の状況でリストなどを活用し、しっかり管理する。</li> </ul>
基準 8 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学生数増加、退学率抑制、3年制学生の増加等で利益率は大幅に向上、各部署のコスト削減意識の向上で更なる健全運営を図る。教育と経営のバランスをしっかりとる予算が必要と思われる。</li> <li>・学園全体だけでなく各校別の決算を公表の予定。</li> </ul>
基準 9 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、大きな課題なし。今後第三者評価に向けての体制作りを行う。</li> <li>・個人情報について情報セキュリティ委員会が今年度実施しているのかとの質問あり。 現状まだ実施しておらず、早期に開催が必要であると感じている。</li> </ul>
基準 10 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業や行政からの依頼数はどのくらいかとの質問あり。 年間 20 から 30 程度あるとの回答。</li> <li>・留学生は何名ですかとの質問あり 学園としては 1000 名近い留学生あるが、本校には台湾出身 2 名のみの状況。学園他校の学生との交流をさせて異文化交流に注力している旨を伝達。</li> </ul>

●中村学校長

今回、頂いた貴重なご意見、ご指摘を確認し、これらをきちんと公表すると共に学校運営の改善に繋がりたい。

また、在校生数が増加しているため、教育環境の整備また教育内容の充実を実施する予定の旨伝達。

この会議だけでなく、ご意見があればいつでもいただければとの話をして会議を終了した。

以上